

平成28年度 愛知県訪問看護ステーション協議会研修会 「経営セミナー」～安定的な質の高い看護を目指す！～

1. 開催日時：平成28年8月6日（土） 14時00分～16時30分
2. 参加者数：88人
3. 会場：名古屋市立大学桜山キャンパス医学部研究棟 11階講義室（大）
4. 研修概要：「自事業所の現状と改善点を明確にする
～事業所自己評価のガイドラインの活用について～」
5. アンケート集計結果：配布数 88枚 回収数 76枚 回収率 86.4%

問1. あなた自身について

(人数) (割合)		
① 性別		
女	76	100.0%
男	0	0.0%
未記入	0	0.0%
合計	76	100.0%

(人数) (割合)		
② 年代		
20代	1	1.3%
30代	2	2.6%
40代	25	32.9%
50代	42	55.3%
60代	3	3.9%
未記入	3	3.9%
合計	76	100.0%

(人数) (割合)		
③ 職位		
管理者	56	73.7%
スタッフ	15	19.7%
未記入	5	6.6%
合計	76	100.0%

(人数) (割合)		
④ 職種		
看護職	74	97.4%
リハビリ職	0	0.0%
事務職	1	1.3%
その他	0	0.0%
未記入	1	1.3%
合計	76	100.0%

(人数) (割合)		
⑤ 在宅ケアの経験年数		
1年未満	2	2.4%
1～3年	6	7.1%
3～5年	7	8.3%
5年以上	12	14.3%
10年以上	19	22.6%
15年以上	30	35.7%
未記入	0	0.0%
合計	76	100.0%

(人数) (割合)		
⑥ 管理者経験		
あり	58	69.0%
なし	17	20.2%
未記入	1	1.2%
合計	76	100.0%

(人数) (割合)		
⑥ 「管理者経験あり」の 管理者経験年数		
1年未満	5	8.8%
1～3年	8	14.0%
3～5年	7	12.3%
5年以上	12	21.1%
10年以上	15	26.3%
15年以上	4	7.0%
未記入	25	43.9%
合計	76	100.0%

(人数) (割合)		
⑦ 自己評価実績		
あり	38	45.2%
なし	29	34.5%
未記入	9	10.7%
合計	76	100.0%

<「あり」の方の実施方法またはツールなど>

- ・情報公表制度
- ・名古屋市ユーザー評価
- ・アンケート方式
- ・継続できず。また、活用できなかったため中断
- ・名介研のユーザー評価事業所評価、介護サービス情報公表の実地調査
- ・事業所自己評価のガイドライン
- ・セルフチェック表でやったことはあるが、定期的に行えていない
- ・OJT
- ・OJT（管理者編）
- ・ラダー評価票
- ・今回のガイドライン

- ・独自のもの
- ・目標管理シート
- ・市の職員の時なので独自
- ・法人
- ・①病院の看護部目標・ステーションの目標から自己目標を設定し
一定時期で反省・達成状況を記載していく。
- ・②病院で作った自己評価ツールを使用し、できている～できていないで
自己評価し、他者（上司）に評価してもらう。
- ※ステーション独自のものは無い。
- ・日本訪問看護財団のツール使用
- ・アンケート方式
- ・看護協会の自己評価ガイド

問2. 本日の研修内容について

	(人数)	(割合)
①理解できた	39	46.4%
②まあ理解できた	35	41.7%
③あまり理解できなかった	1	1.2%
未記入	1	1.2%
合計	76	100.0%

<具体的なご意見>

「①理解できた」方のご意見

- ・判断内容がはっきりとわかった
- ・自己評価をした際に、課題と何がどう取り組んでいくか悩んでいたが、今回の研修で糸口が見えた
- ・人材育成に努める
- ・地域に入り込む
- ・とても具体的で、わかりやすかった
- ・自己評価が、今後の訪問看護の活性化・地域への貢献につながることを理解した

「②まあ理解できた」方のご意見

- ・ガイドラインを使用して、事業の取り組みを検討する
- ・パワフルな講師で元気をもらえたが、時々早口で何を言われているのかわからないことがあった
- ・ガイドラインや資料の説明で
- ・スタッフでの立場として、まだ未熟なこともあり、自己評価についての知識が少なかつたため、十分理解できないこともあった
- ・組織のビジョンを描け、また、目標を立て、評価し、新たな課題をしっかりと見つけてやっていくことが大切だと思った
- ・スタッフと一緒にと思っても、管理者がまずきちんと理解して、活用していかななくてはいけない

「③あまり理解できなかった」方のご意見

- ・研修（福祉サービス分野について）のパワーポイントがなぜなかったのか？わかりにくい

問3. 本日の研修内容の今後の活用について

	(人数)	(割合)
①活用できる	43	51.2%
②活用できることもある	30	35.7%
③活用が難しい	0	0.0%
未記入	3	3.6%
合計	76	100.0%

<具体的なご意見>

「①活用できる」方のご意見

- ・ガイドラインに沿って事業所を見直せば、強化すべき点が洗い出せる
- ・研修計画・自己評価など、今後、地域の情報収取・地域との取り組みなど検討したい
- ・さっそく取り組みたい。ガイドラインを活用して、自己評価を行う
- ・中、長期目標を立てることで、事業計画を立てやすくなりそう。
- ・スタッフ教育もしなければと思っていても、なかなか手がつけられなかったもので、本ガイドラインを活用して行いたい
- ・できていないこと、どういう内容が必要か具体的にわからないということがあり、ガイドラインが活用できると思う
- ・まだまだ手探りな自己評価を行っているため、改めて具体的に活用に向けて検討していきたいと思う
- ・自己評価のガイドラインについて、評価の判断基準が難しいと思った
- ・今まで具体的な評価に悩んでいたが、とてもわかりやすかった。すぐ活用していきたい

- ・質の高い看護を目指すには、今日の内容をきちんとやっていくことのできる所だと感じた
- ・1年に1回評価を行い、変化を楽しみたい
- ・年1回行い、評価と課題を明確にして、質の改善につなげていきたい
- ・ガイドラインを取り入れたいと思う。研修計画、再検討
- ・研修の中でガイドラインを行ったが、非常に評価しやすいと思った
- ・現訪問看護事業所において、職員で考えると不足や強化が必要なところが明確になり、情報が共有できると思われた
- ・ガイドラインを活用

「②活用できることもある」方のご意見

- ・判断基準が良い指標になると思う。まだまだ着眼点をクリアしていないところもあるが、クリアできるように取り組みたい
- ・小さいSTであり、なかなか導入が難しいかと…
- ・訪問に追われるようにしており余裕がない
- ・自己のステーション内だけで各々個別的に活用できることもあるが、それでは事業所内にとどまり良くないと感じた
- ・大人数なので全員の話し合いは難しいと思われるが、スタッフと一緒に考えることが必要と学んだので、今後実施してみたいと思った
- ・まだステーションの立ち上げをしたばかりであり、活用までには時間がかかりそう。必要性・重要性はとてもよくわかった
- ・まだまだ小さな事業所なので、できることから行っていこうと思う

「①②③記入なし」方のご意見

- ・ツールを何で使用するか…ということだと考えた

問4. 安定的な質の高いサービス提供のため工夫している点について

- ・ST全体でのレベルアップのための学習
- ・カンファレンスを位置づける
- ・学習会を位置づけ、実施している
- ・本人・ご家族のニーズ聴取と関係部署との情報共有、定期的な勉強会・研修
- ・年1回、利用者に対して、質について問うアンケートを実施、評価考案し、課題を挙げ取り組んでいる
- ・スタッフと密にカンファレンスを行うようにしている
- ・スタッフとのOJTを積極的におこない、ケア内容等についてのアセスメントを一緒に行うようにしている。
- ・新規の依頼は断らないこと。ミーティングは毎回
- ・できるだけ色々な研修に参加できるように、勤務（訪問）を変更し、新しい知識を得るようにしている。→サービスに生かしていけるようにしている
- ・研修を受けたらできる限り伝達講習を行う
- ・研修の報告会をして、知識や技術を共有することなど
- ・現在のところない。目標をもって、働き甲斐のある職場にしていきたい
- ・定期的なカンファレンス開催
- ・第三者評価を得る。新人～中堅の教育
- ・2年に1回、利用者アンケートと事業所評価を行っている
- ・定期的なミーティング
- ・スタッフ一人一人に合わせた教育計画を行っている
- ・ステーションあげてテーマを考え、一年を通して学びを深める。月1回以上の勉強会開催
- ・他職種との連携の継続。
CM・Drへ報告書・計画書など、手渡して持参。情報交換を行う
- ・積極的に勉強会参加のための支援。OJT
- ・スタッフでカンファレンス。情報交換を毎日行う
- ・週1回1.5時間程度、スタッフ全員（休みの人は任意）が集まり、カンファレンスや勉強会・伝達講習を行っている
- ・法人のラダー毎の研修参加、看護協会の研修等
- ・勉強会。小さなことでも全員で参加
- ・各場面における評価・ふり返りをするよう、カンファレンス回数を増やしている
- ・月1回カンファレンス（訪看（Ns、PT、）CMなどが参加）
週1回ケースカンファ（昼食時30分程度）
- ・徹底的な同行訪問。日々のカンファレンスで細かい情報共有
- ・研修への参加
- ・ニーズの聴集
- ・職員を確保していかないと、ご利用者様のサービスにも影響が出てしまうので、働きやすい職場・明るい職場を意識するのみだった。
今後は人材教育なども具体化できるよう努力していく
- ・ミーティングの活用。利用者さんの情報共有

問5. 今後、ステーション協議会の研修で希望される内容について

- ・在宅看取り
- ・医療保険のレセプトの書き方(返戻が多い)
- ・記録について。教育計画・実施について（方法）。OJTなど

- 連携（看・看や医・看）について。
認知症の方の在宅の問題と対策。（訪問看護の在り方・必要性）
- 報酬についての勉強会
- グリーフケア。緩和ケア
- 実技的なことがしてもらえると良い
- ストレス評価（疲労ストレス体験会）
→一般社団法人日本疲労メンテナンス協会にやってもらいたい。
- 円棺体験
- 家族看護
- スタッフ教育・人材育成における評価基準や考え方など…
- 事業所自己評価のガイドラインを活用していきたい
- 経営に関する研修
→新しく立ち上がったステーションが増えている。自ステーションがこれからも安全・適正に
事業運営継続できるためのスキルをもっと得たい

6. その他、本日の感想やステーション協議会に対するご意見等ご自由にお書きください

- 場所がわかりにくかった
- ありがとうございました
- 今後のステーション運営に活かしていく
- 訪看が知られていないことは実感していた。今の私の目標は、まずは母体の病院に訪看をもっと知ってもらうこと
- 曜日、時間帯、開催回数がちょうど良いと感謝している
- どちらかと言えば経営的なもので、管理職ではない私には少し難しいところもあったが、でもステーションでは管理職でなくても考えていかなければいけないので、勉強になった。
年間の計画・日程が早めにわかるといい
- 事業所として見直さなくてはならないことが多すぎて、何から手をつけてよいのか悩む
- グリーフケアに興味を持った。ステーション内で話し合い、一歩進みたいと思う